

C o Q 10の保健効果研究

カネカ 愛媛大などと共同で

カネカは特定NPO法人しまの大学、愛媛大学医学部、医療機関などと協力し、還元型コエンザイムQ10（C o Q 10）の保健効果のための共同研究を今月から開始する。高齢者の多い愛媛県越智郡上島町の町民を対象

に、還元型C o Q 10摂取による健康維持・増進などを詳細に調査。来るべき高齢化社会のモデルケースと見立てたコホート研究となる。期間は約4カ月間。研究調査では、上島町の40～80歳（約40人）の協力で、16週間にわたり還元型と酸化型C o Q 10をそれぞれ継続摂取してもらい、調査開始と終了の時点の血中濃度、還元型C o Q 10の血中濃度、還元型／酸化型の比率や、身体の活力度合いなどを比較し、還元型の有効性を検証する。カネカは、世界で初めて高純度還元型C o Q 10の大量生産技術を確認し、素材供給やサプリメント事業の拡大に力を

注いでいる。コホート研究に企業製品が用いられる取り組みは珍しい。

上島町は、愛媛と広島の県境の瀬戸内海に浮かぶ離島で構成される、人口7400人、世帯数3800戸の町。65歳以上が町の人口の40%以上。調査チームは、高齢化社会における健康課題解決に資する先進事例とするため、今後も継続的に調査研究を実施していく。